

お詫びと訂正

honto で配信中の電子書籍「独検過去問題集 2021 年版〈準 1 級／1 級〉(音声付)」につきまして、本文の 233 頁が抜けており、234 頁が 2 回分掲載されているという誤りがあることが判明いたしました。

現在データの修正を行っており、2021 年 6 月 29 日頃には、修正された版が honto にて再配信される見込みです。下記にて、233 頁の画像を掲載いたしますので、こちらもご参照いただければ幸いです。

すでにお買い求めをいただきましたみなさまには、多大なご不便、ご迷惑をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。また、大変申し訳ございませんが、修正版の再配信まで今しばらくお待ちをいただきますよう、伏してお願い申し上げます。

郁文堂 編集部

結果をもたらす、という考え方もあります。また、これらの見解はあくまでも専門家たちの意見として紹介されているものであり、選択肢にある allgemein (世間一般) の総意かどうかは本文では述べられていません。したがって、選択肢 **8** は不正解です。なお、この選択肢を正解とする解答は 34.25% ありました。

選択肢 **9** は、「専門家たちは、週4日労働のようなさまざまな構想に並んで、とりわけフレキシブルに労働時間を設計できることが、これまでのドイツの労働時間モデルを刷新するための可能性となるとみなしている」という意味です。Flexibilität (フレキシビリティ) については本文の第4段落後半および第5段落で述べられていますが、本文ではこれが今後のドイツ社会に新しい労働時間モデルを提供するためのキーワードとなるであろう、という専門家たちの共通認識が紹介されています。したがって、選択肢 **9** は本文の内容に合致しており、正解です。[正解率 82.19%]

◇この問題は 16 点満点 (配点 4 点×4) で、平均点は 10.22 点でした。

5 解説のまとめ

- * 定冠詞と不定冠詞は、それが用いられる明確な理由が存在します。そのため、冠詞の形から、それが付されている名詞が「未知」の情報か、あるいは「既知」の情報か。既知であればすでに与えられた情報のうちの何を指すのか、と細かく分析しながらそれぞれの文を読み取っていく必要があります。とりわけドイツ語では同じ名詞を反復して使用することを避け、別の単語で言い換えることも多いため冠詞の種類には注意してください。
- * 接続法を用いた間接話法は、発言の内容が筆者自身のものなのか、あるいは別の誰かの意見なのかを読み解くことがポイントになります。「誰が語っているのか？」をはっきりさせることで文章全体の構造が把握しやすくなり、おおまかな話の流れを掴むことも容易になります。とりわけ複数の見解が登場し、研究者や専門家、政治家、ジャーナリストなどの意見が間接話法という形で頻繁に引用されるテキストの理解のためには、接続法の用法に習熟することはとても大切です。

6 長文読解 (表現の補充・文の書き換え)

正解 I 1 II 3 III 3 IV 4 V 2

長文読解形式の問題です。出典はオンライン版《Frankfurter Allgemeine》紙